

エコアクション21
環境マネジメントシステム

2023年度 環境経営レポート

対象期間：2023年4月～2024年3月



谷口局谷 砂防堰堤工事



認証番号0008420

作成日 2024年 4月 18日
(次回発行予定日2025年5月頃)

株式会社 大和土建
〒777-0302
徳島県美馬市木屋平字川井94-5

目 次

	ページ
ご挨拶	1
環境経営方針	2
組織の概要	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績、環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6-1,2,3
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	7
緊急事態対応訓練	8
代表者による全体の評価と見直し・指示	9
これまでの環境活動の紹介	10



■ ご挨拶

株式会社 大和土建は、建設事業を通じてその技術力と創造力によって、地域社会に貢献し、尚、高い品質提供により信用と信頼を獲得し、社業の発展を図っています。

しかしながら地球温暖化は、現在も悪化傾向であり当社事業活動から排出される二酸化炭素も原因であるとの認識し、二酸化炭素排出量削減に取り組み、微力ながら地球温暖化防止に貢献しなければならないことを全従業員に周知し、実践して参ります。

近年、地球環境問題 エネルギー問題が注目されるようになり、環境配慮への要求がますます高まっている状況を踏まえ、[エコアクション21]のPCDAサイクル活動を活した事業活動を実践し、法遵守と環境の負荷を低減すると共に更なる業務改善に努め地球温暖化防止及び地域社会に貢献して参ります。

以下に5Sを定め 環境保全活動の基本として参ります。

株式会社 大和土建
代表取締役社長
藤原 尚樹

(株)大和土建 5S

2017年4月1日
環境管理責任者 吉成
E A 2 1 事務局 藤田

当社は、環境経営活動の基礎となる5Sを定め、組織活動に活用する事とする。

- | | |
|----------------|--|
| ①整理整頓 | いるものといらないものを明確に分けいらない物を棄て
いるものは、誰もがわかるように明示しましょう。 |
| ②清掃清潔 | ゴミを見つけたら拾い、現場作業終了時は、現場周辺を
含めきれいにしましょう。 |
| ③セーフティ
(安全) | 従業員全員で仲間意識を強く持ち事故・災害は『恥』と
自覚し、常に安心・安全な職場づくりをしましょう。
それには、作業への『指差し呼称』を徹底しましょう。
ヨシ、ヨシ、ヨシ、声を出して自らの作業を確認しましょう。 |
| ④躰 | 社内で決めたルールを守り、適用する法理は順守する。
社会人として、当社従業員に相応しい行動をしましょう。 |
| ⑤スマイル | 挨拶等、自分自身持てる笑顔と思いやりで真の信頼関係
をつくりましょう。 |

以上のことを全従業員が『守り』強い良い会社へ成長していきましょう。
ルールの順守は、コミュニケーションが大事です。活動には、報告・連絡
・相談を確実にしながら、スピードをもって課題・解決に努めて行きま
しょう。

■ 環境経営方針

< 環境経営理念 >

株式会社大和土建は、1975年（昭和50年）創業、美馬市の山間部にて、建設業を通じて、自然環境との調和、環境負荷の低減に取り組み持続可能な循環型社会の構築に貢献します。企業理念である地域社会への貢献により、信用と信頼が獲得できるよう、人材の育成育む事。この思いを、環境経営方針に反映し、後継者へ伝承していきます。

エコアクション21では、定めた環境経営方針に基づき、地球温暖化防止等に微力ながら貢献する企業を目指します。

以下の通り、具体的な取り組みを実践していきます。

< 環境保全への行動指針 >

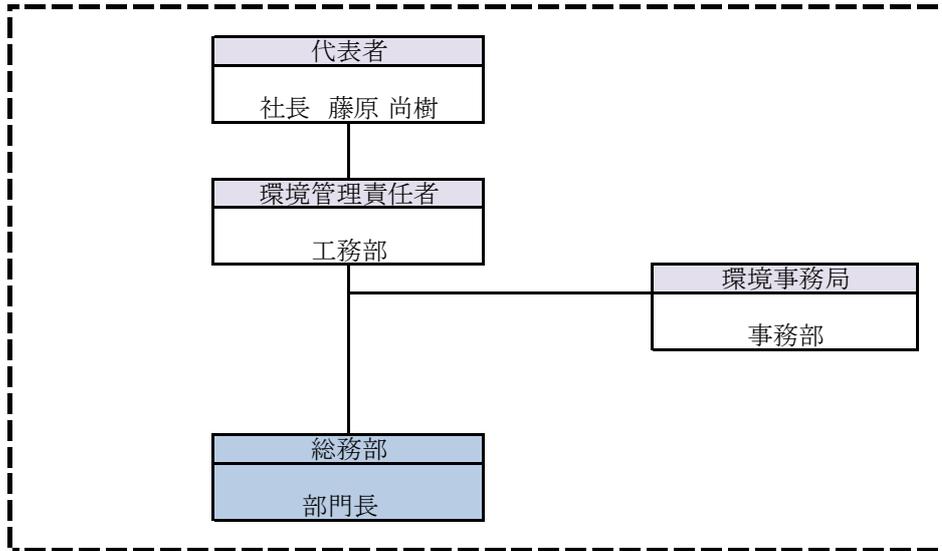
1. 身の丈に合ったエコアクション21環境マネジメントシステムを構築し、実施運用し、環境経営の継続的改善に努めます。
2. 適用する環境関連法令及びその他要求事項を順守します。
3. 事業活動による環境影響を回避・低減・管理するため、以下の項目を環境経営管理重点として自主的、積極的に取り組みます。
 - 1) 電力・燃料消費の節電、節約などによる二酸化炭素排出量の削減
 - 2) 廃棄物の発生抑制及び適正処理
 - 3) 水消費量の削減
 - 4) 地域の清掃ボランティア活動
 - 5) E A 2 1 ・ P D C A サイクルを活用した業務改善
4. 上記、取組項目を環境経営目標等に展開し、環境経営システムを推進します。
5. 法順守及び環境負荷の低減活動が実践できるように、環境経営方針を全従業員及び関係する協力会社に周知します。
6. 環境経営レポートを作成し、公表し、一般の人々が入手できます。
7. 受託するそれぞれの事業遂行において、地域住民にご迷惑をかけないよう適切な作業の推進に努めます。



2020年4月1日制定
株式会社 大和土建
代表取締役社長 藤原 尚樹

■ 環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2023年4月18日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認 ・課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

■ 主な環境負荷の実績

項目	単位	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	51,915	—	—
一般廃棄物排出量	kg	0.068	—	—
産業廃棄物排出量	kg	468.1	—	—
総排水量	m ³	14.0	—	—

※二酸化炭素排出係数 0.533 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数
 ※負荷の実績は工事現場を含む

■ 環境経営目標及びその実績

- ・環境経営方針に整合させる。
- ・前3ヵ年平均実績を基準とする。
- ・CO₂排出量削減 中期3ヵ年目標 累計△0.9%

管理項目	管理単位	基準値 前3ヵ年平均実績	区分	2023年度	2024年度	2025年度	単年度 達成率	評価
				(目標△0.3%)	(目標△0.6%)	(目標△0.9%)		
電力	消費量 kWh	4,138	計画	4,126	4,113	4,101	94.6%	△
	実績		4,360	—	—			
電力	CO ₂ 排出 kg-CO ₂ /kWh	2,214	計画	2,199	2,201	2,194	94.6%	△
	実績		2,324	—	—			
灯油	消費量 L	503	計画	501	500	498	97.3%	△
	実績		515	—	—			
灯油	CO ₂ 排出 kg-CO ₂ /L	1,252	計画	1,248	1,244	1,241	97.3%	△
	実績		1,282	—	—			
軽油	消費量 L	15,069	計画	15,024	14,979	14,933	139.2%	○
	実績		10,794	—	—			
軽油	CO ₂ 排出 kg-CO ₂ /L	38,879	計画	38,762	38,646	38,529	139.2%	○
	実績		27,849	—	—			
ガソリン	消費量 L	8,726	計画	8,700	8,674	8,647	98.7%	△
	実績		8,819	—	—			
ガソリン	CO ₂ 排出 kg-CO ₂ /L	20,244	計画	20,184	20,123	20,062	98.7%	△
	実績		20,460	—	—			
合計CO ₂ 排出量		62,589	計画累計	62,393	62,213	62,026	120.1%	○
			実績累計	51,915	—	—		
CO ₂ 排出量原単位 (業務改善)		294	計画	292	290	289	116.8%	○
			実績	250	—	—		

※原単位 次対象期間基準値は、前 3ヵ年平均の CO₂排出量/売上高

水使用量	消費量 m ³	14.4	計画	14.0	14.0	14.0	100.0%	○
			実績	14.0	—	—		
一般廃棄物	排出量 kg	63.2	計画	63.0	62.8	62.6	92.5%	△
			実績	68.1	—	—		
産業廃棄物	排出量 kg	958,270	計画	—	—	—	毎実績把握と法に基づき適正管理	
			実績	468,093	—	—		

※評価 ○ 100%以上 △ 80%~99% × 79%以下

環境活動取組項目と評価

評価項目	評価基準	2023年度	評価
グリーン購入促進 グリーン商品購入等	良い = 5点	5点	グリーンマーク商品、県産材の使用が出来ている
ボランティア活動		3点	工事工程により実施不可の場合あった
業務改善	まあまあ = 3点 悪い = 1点	3点	もう少し努力が必要 特にコスト・経費削減に重点を置く
コスト・経費削減			
品質・会社利益向上			
簡素化による時間短縮			
安全管理			

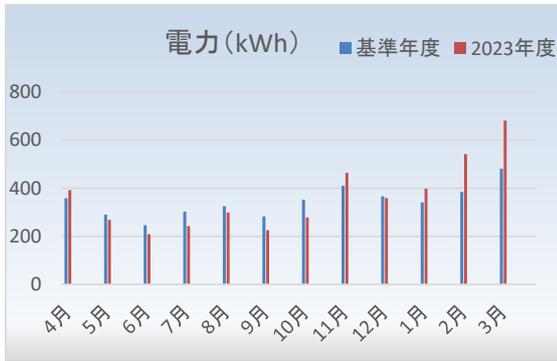
■ 環境経営計画の取組結果とその評価

達成率:○ 良い △ まあまあ × 悪い

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

事務所

電力による二酸化炭素削減	日程	責任者	達成状況	取組結果とその評価、次年度の経営計画内容
数値目標			△	活動の取り組み成果により効果を上げていて年間における使用量削減に繋がっている。 次年度も活動を継続していく。 年度末の残業おける使用量の改善が必要。
・使用電力の情報収集	通年	事務局	○	
・不要照明の消灯	通年	事務局	◎	
・空調温度の適正化(冷房28℃)	使用時	事務局	◎	
・使っていないコンセントは抜いておく	通年	事務局	○	



取組紹介欄

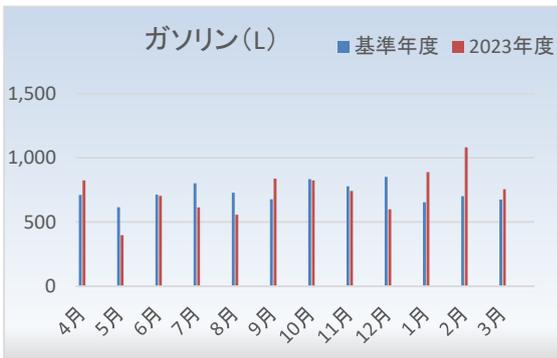
節電ポスター

節電啓発シール



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基準年度	358	290	246	302	325	283	352	410	366	341	384	481
2023年度	392	269	209	243	299	226	279	464	359	398	541	681

自動車燃料による二酸化炭素削減	日程	責任者	達成状況	取組結果とその評価、次年度の経営計画内容
数値目標			△	作業現場が上半期に複数になりガソリン使用量の増えた。 次年度も引き続き活動を継続し、走行距離の無駄を取らないようにする。(最短ルートを選択)
・アイドリングストップの励行	通年	工務部	○	
・効率的なルートでの運転	通年	工務部	○	
・急発進・急加速をしない	通年	工務部	◎	
・効率的な車両の利用	通年	工務部	○	

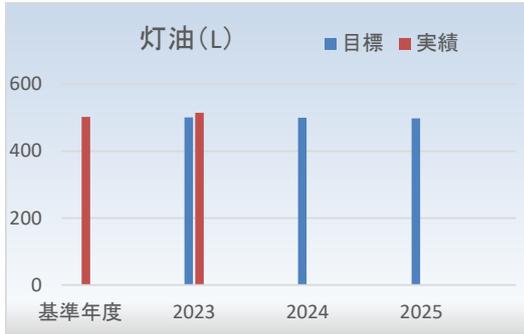


取組紹介欄



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基準年度	711	615	713	802	727	677	834	778	850	654	701	675
2023年度	824	398	703	613	556	837	824	742	598	888	1,081	756

灯油による二酸化炭素削減	日程	責任者	達成状況	取組結果とその評価、次年度の経営計画内容
数値目標			△	本年度使用量は、目標数値より若干増えてしまった。事務所作業時間の増加によるものと思われる。次年度も、活動を継続し使用量削減に努める。
・空調温度の適正化(室内温度20℃)	通年	事務局	○	
・扉を開放したままにしない(換気時のみ)	通年	事務局	◎	
・午後はできるだけ使用しない	通年	事務局	○	



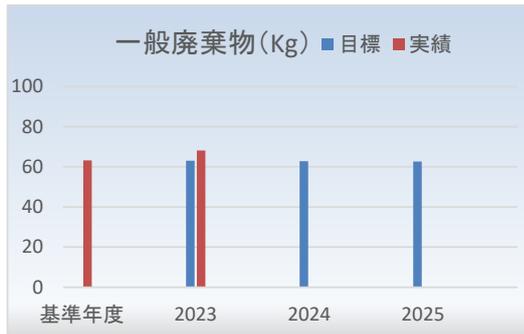
取組紹介欄

設定温度は20℃



	基準年度	2023	2024	2025
目標		501	500	498
実績	503	515	—	—

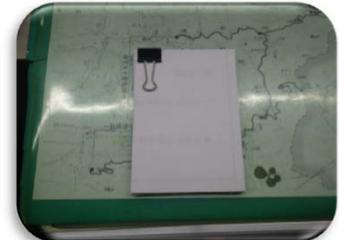
一般廃棄物(紙くず)の削減	日程	責任者	達成状況	取組結果とその評価、次年度の経営計画内容
数値目標			△	目標数値を達成できなかった。使用できるコピー用紙は100%リサイクルに努めた。次年度は印刷前のチェックをして、ミスプリントを減らす。
・分別の徹底	通年	事務局	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	通年	事務局	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	通年	事務局	△	



取組紹介欄

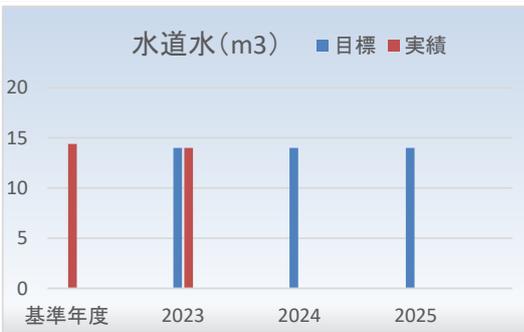
裏紙再利用

メモ用紙に再利用



	基準年度	2023	2024	2025
目標		63.0	62.8	62.6
実績	63.2	68.1	—	—

水道水の削減	日程	責任者	達成状況	取組結果とその評価、次年度の経営計画内容
数値目標			○	節水の心がけは出来ているが、今後も使用時に再度意識して節水に努める。
達成手段 2項目				
・洗車、散水時の節水	通年	事務局	○	
・水の出っぱなし禁止	通年	事務局	○	



取組紹介欄

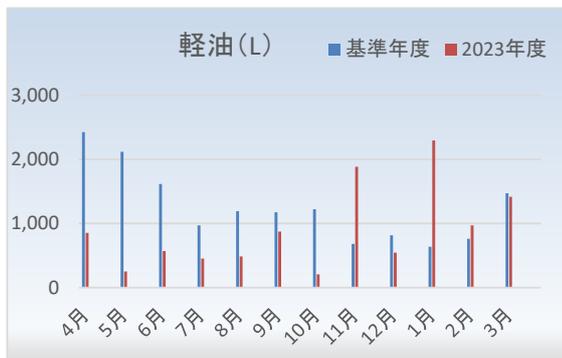
注意喚起シール



	基準年度	2023	2024	2025
目標		14.0	14.0	14.0
実績	14.4	14.0	—	—

現場

建設機械の燃料による二酸化炭素削減	日程	責任者	達成状況	取組結果とその評価、次年度の経営計画内容
数値目標			○	今年度は受注工事内容にもよるが、掘削重機及びダンプトラック等の稼働が少なかったため目標数値を達成できている。 次年度も目標数値が達成出来るように、引き続き活動に取り組む。(無駄のない建設機械の操作、エンジン回転数を10%下げる)
・アイドリングストップの励行	通年	工務部	○	
・重機、車両の始業前点検の徹底	通年	工務部	○	
・効率的な利用	通年	工務部	×	



取組紹介欄

環境対応型・超低騒音型機械使用



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基準年度	2,422	2,117	1,615	969	1,191	1,174	1,220	681	815	637	760	1,469
2023年度	854	251	570	452	486	873	206	1,882	545	2,292	969	1,414

産業廃棄物処理の再資源化	日程	責任者	達成状況	取組結果とその評価、次年度の経営計画内容
数値目標			○	集計方法の見直し等により分別の徹底、処理委託契約とも適正に管理できている。 次年度も継続して取り組んでいく。更に分別の徹底に取り組みたい。
・分別の徹底	通年	工務部	○	
・マニフェスト伝票による適正管理	通年	事務局	○	
・リサイクル業の確認	通年	工務部	○	

取組紹介欄

達成手段 7項目

- 1 不要なものを持ち込まない
- 2 現場作業場でのゴミ分別
- 3 3R(発生抑制・再利用・再生利用)の実践確認
- 4 産業廃棄物は全量中間処理場へ持ち込む
- 5 上記、管理票に基づく適正処理
- 6 コピー用紙の両面使用し廃棄物の発生抑制
- 7 使い捨て容器の使用や購入を抑制する



「中間処理場」

その他の取り組み

グリーン購入の促進

取組紹介欄

- 1 コピー用紙(文書用)
- 2 フラットファイル
- 3 県産材の型枠
- 4 マジックペン
- 5 蛍光ペン
- 6 インクカートリッジ

県産材型枠



県産材使用の
工事看板

コピー用紙
(PEFC・森林認証制度)



■ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

当社の土木工事等の環境法令の順守状況は、特定一覧表に評価を示すが、抜粋し以下に示す。
 管理責任者が2022年度の評価を承認し、社長報告確認、問題のないことを実証します。
 又、過去3年間、監督官庁及び周辺 住民からの指摘、苦情、訴訟等は1件もありませんでした。

遵守評価 2024年4月15日

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制		適用される事項	評価 ○×	
1	産業廃棄物処理法	処理基準	契約なし確認	○
		委託基準	委託契約なしを確認。	○
		保管基準	建設工事廃棄物場外保管もなし。原則保管しない。	○
		施設の技術上の基準	施設処理設置、技術面での問題なし確認。	○
		中間処理場(又は最終処分場)の現地確認証拠写真等の保持	従来より中間処理場を確認 努力義務の実地確認を10月に行う。以降、年1回実施。	○
		特別管理産業廃棄物の管理手段	石綿、PCB等の付着物は扱わないことを周知確認。 最悪発生時は専門業者依頼するも、管理責任者の確認後。	○
		マニフェスト管理 D・E票回収日程 回収遅れ時、対策含め報告	D票は5日・E票は7日以内回収を1月分約1/3 を確認。	○
		マニフェスト管理票 A票含め4枚保管	回収・照合欄に漏れがないか確認。保管不実施の場合、6ヶ月以下の懲役、50万円以下の罰金の周知。	○
		マニフェスト管理 6月末県へ毎年一括報告	2022年度分確認。	○
		不法投棄の罰則強化 1億円→3億円	不法投棄禁止の繰返しの周知。	○
		処理困難通知の対応 処理業者は委託計画先に処理困難な場合10日以内に書面等での通知義務	処理業者は通知義務違反時6ヶ月の懲役又は50万円以下の罰金があることを当社内にも周知できた。 事象発生なし。	○
		受託者は、管理票が返送されていない場合講じた措置について「措置内容報告書」を作成、受理後30日以内に県知事提出義務。	上記事象発生なし。自主回収美を設け実施中。処理困難の行政処分等もなく順調の推移。 教育で無過失責任の考えを周知済み。	○
		措置命令 上記30日以内に処置の不実施	5年以下の懲役、1000万円以下の罰金を周知徹底。 この命令対象にならないように処理業者の実地確認等実施。	○
建設廃材の場外保管時、県へ事前届け出	現時点では事象発生なし。	○		
2	建設リサイクル法	解体、土木、改修、新築の基準以上に適用	土木工事500万以上に該当。 物件施工への最終報告済み。	○
3	家電リサイクル法	長時間使用。廃棄時の販売店等への引渡。	事象発生なし。	○
4	自動車リサイクル法	長時間使用。廃棄時のディーラー等への引渡。	事象発生なし。	○
5	グリーン購入促進法	一般努力義務。	EA21環境活動計画で推進中。	○
	グリーン調達基準	行政発注分(国交省等)	国土交通省受注なし。調達基準を再度周知。	○
6	改正リサイクル法	パソコン、二次電池リサイクル率向上	事象発生なし。	○
7	騒音規制法(建設)	工事現場 85db	周辺からの苦情なし。作業日誌確認とヒヤリング。	○
8	振動規制法(建設)	工事現場 75db	周辺からの苦情なし。作業日誌確認とヒヤリング。	○
9	悪臭防止法	悪臭発生の可能性のある作業	公共工事、又特記仕様にも作業指示なしを確認。	○
10	省エネ法	自主的。	EA2環境目標・活計画で推進中。	○
11	オフロード法	オフロード重機類の規制適合車	現場重機類の適合証明確認。他の機械類確認。	○
12	森林林業基本法	工事完成後の、緑地帯の保護及び緑化の促進	ヒヤリング等で工事問題なかったことを確認。	○
13	河川法	工事現場、汚濁水等の河川への流入の防止	日誌に記載ありを確認。	○
14	火薬取締法	火薬類の使用事前届け出	事象発生なし。	○
15	浄化槽法	保守点検、清掃、法定点検	浄化槽使用なし。該当せず。旧汲み取り方式。一応電話確認。美馬市環境衛生確認問題なしとのこと。	○
16	作業環境測定法	作業環境測定法施工規則	事象発生なしを確認。	○
17	フロン排出抑制法	簡易点検	点検の実施を確認	○
18	徳島県脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条例	事業活動に関する気候変動の緩和及び適応に関する取り組みを行う	日常、都度適切処理を確認。	○
19	徳島県環境基本条例	活動にかかる産業廃棄物が出た場合、適切に処理	日常、都度適切処理を確認。	○

■ 緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定: 土砂災害による避難訓練	
■実施日: 令和5年10月17日	■実施場所: 現場
■参加者: 5名	■実施内容: ・避難経路の確認
■評価: 訓練を通じて状況に応じた行動力・避難経路の周知が出来た。	
■実施状況の様子	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
	

緊急事態の想定: 現場火災による火災訓練	
■実施日: 令和5年11月1日	■実施場所: 作業現場
■参加者: 5名	■実施内容: ・消火器の使い方、火災発生時の緊急連絡体制
■評価: 現場での訓練を実施し、火災に対する認識を深めた。	
■実施状況の様子	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
	

■ 代表者による全体評価と見直し・指示

《環境経営計画実施状況からの報告》

実施日 2024年4月15日

項目		状況報告	管理責任者から 次年度対策
1	環境への取組状況	環境活動の取組みは実施出来ていると思われる。Co2排出量の減少でげんたんの目標が達成されている。	Co2排出量を抑える取組みは、引き続き努力して欲しい。
2	法遵守の定期的評価	関係法令での違反はありませんでした。	引き続き定期的な評価を行う。
3	教育訓練状況と結果	社員個人による差はあるが新しい資格取得は、出来ている。	工事工程の調整をして、資格取得の機会を設けるようにする。
4	緊急事態への準備対応	テスト項目内容の対応が実施されている。	大規模災害に備えたしきいとうを確認する。(BCPを活用)
5	外部からの苦情等	事象無し	各現場において、環境配慮に関し意見を出し合う。
6	是正・予防処置等	事象無し	次年度も処置の無いよう努める。

《代表者による全体評価と見直し・指示》

今年度は、年間を通して砂防堰堤工事での施工が続いた。掘削重機及びダンプトラックの運搬等が少なかったため二酸化炭素排出量の削減ができていると思われるので、目標値だけでは判定しにくい。経営面において物価の高騰に伴い資材製品等の値上げりが利益に大きな影響を及ぼしているため経費削減活動の取組みの実績を充実してください。

次年度運用についての課題 環境に配慮した工事の推進を行う。

次年度に向けての必要性

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/>	変更無し	<input type="checkbox"/>	変更有り
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/>	変更無し	<input type="checkbox"/>	変更有り
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/>	変更無し	<input type="checkbox"/>	変更有り

■ これまでの環境活動紹介

四国遍路道美化活動に参加



側溝の清掃活動 (一般国道438号)



地域貢献活動

